

技能評価システム移転促進事業(SESPP)は日本式技能評価のノウハウを移転するため、ベトナム、カンボジア、インドネシア、ラオスを対象に日本の専門家によるセミナーや技能評価トライアルを実施しています。事業の運営事務局を株式会社 J T B 霞が関事業部にて受託しております。日本式の技能評価の活用促進が図れるよう、J-Skills Newsでは、事業の取組などをお知らせしています。(年3回発行)

□ラオス・ベトナム・カンボジアで2023年度現地事業評価を実施

SESPP事業の効果的・効率的な実施を図るため、対象国における技能労働者のニーズの把握、広報手法や取組職種・等級の検証、中長期的課題の把握等を行うことを目的として、活動対象国であるラオスと1月22日(月)、ベトナムと1月25日(木)、カンボジアと2月23日(金)に官民合同委員会が開催されました。参加メンバーは各国政府人材開発部局、現地職業訓練施設、厚生労働省、SESPP事務局、およびその他本事業に関係する者で構成され、当年度事業の実施状況や成果、次年度実施に向けた提案、意見交換等を議題に行われました。

■ラオス

日時 参加者	2024年1月22日(月) ラオス時間13:30-15:45 技能開発院(SDI)、ビエンチャン技能開発センター(VSDC)、厚生労働省、日本大使館、JICA事務所、JETRO、SESPP事務局
参加者数	20人
本年度の実施内容	技能検定 ・配電盤・制御盤組立て作業3級 技能評価者講習、技能評価トライアル、技能評価者認定 ・機械検査3級 技能評価技法研修
次年度の職種に係る提案内容	技能検定 ・目標：SESPP協力職種の国家検定の構築 ・活動：2023年事業のフォローアップ(セミナー、技能評価トライアル、技能評価者認定) 職種案：配電盤・制御盤組立て作業3級SET又は2級SAT/SET、 機械検査3級SAT/SET
今後の取り組みに向けた意見交換	・配電盤・制御盤組立て作業3級において、ラオスで初めての認定評価者が6名誕生したことは、大変重要な意味を持つ。認定評価者はラオスの技能検定を担う人材となることを期待する。(SDI) ・ラオスで評価者を育成することは喫緊の課題であり、1つの職種で1年で実施する研修の回数を増やしてほしい。(VSDC) ⇒ 1年で複数回研修を実施し、2年で修了させることは理論的には可能だが、協力いただいている専門家は、通常日本での勤務があり、年複数回SESPPの研修を担当いただくことは難しい場合もある。専門家と相談の上、決めていきたい。(厚生労働省)



ラオス官民合同委員会



ベトナム官民合同委員会



カンボジア官民合同委員会

■ ベトナム

日時 参加者	2024年1月25日(木) ベトナム時間9:30-12:00 サイゴンハイテクパーク訓練センター(SHTP-TC)、厚生労働省、企業(日系、現地)、研修受講者、SESPP事務局
参加者数	21人
本年度の実施内容	技能検定 《南部(ホーチミン)》 ・機械検査3級 技能評価トライアル、技能評価者認定 ・機械検査2級 技能評価者講習、技能評価トライアル ・シーケンス制御2級 技能評価者講習、技能評価トライアル
次年度の職種に係る提案内容	《技能検定》 ・目標：SESPP協力職種の社内検定・業界検定の構築 ・活動：2023年事業のフォローアップ(セミナー、技能評価トライアル、技能評価者認定) 職種案：機械検査3級SET、機械検査2級SET、シーケンス制御2級SET 必要に応じ、新たな職種の社内検定・業界検定の構築への協力(機械製図CAD作業?)
今後の取り組みに向けた意見交換	・南部地域では、SESPPで6職種を実施し、機械検査3級で13名、シーケンス制御3級で2名の評価者が認定されている。受検者は総数148名で、うち56名が合格している。(SHTP-TC) ・特にニーズの高いシーケンス制御と機械製図CAD作業の検定を自立的に実施、運営できるよう評価者を育成したい。(SHTP-TC)

■ カンボジア

日時 参加者	2024年2月23日(金) カンボジア時間09:30-12:30 労働・職業訓練省(MoLVT)、厚生労働省、NPIC、NTTI、PPI、ITI、PPSEZ、企業(日系)、SESPP事務局
参加者数	23人
本年度の実施内容	技能競技大会セミナー ・情報ネットワーク施工 技能検定 ・配電盤・制御盤組立て作業2級 技能評価トライアル ・電気系保全2級 技能評価トライアル ・機械検査3級 技能評価トライアル その他 ・本邦研修： 技能競技大会セミナー(情報ネットワーク施工)
次年度の職種に係る提案内容	《技能競技大会》 ・目標：新たな技能競技種目の実施に向けた技能競技運営方法、採点・評価方法の習得 国内競技大会での情報ネットワーク施工職種の実施 ・活動：日本人専門家によるデモンストレーション・セミナー、 技能競技委員の訓練、国内技能競技大会での情報ネットワーク施工職種実施への支援 《技能検定》 ・目標：国家検定制度の構築、SESPP協力職種のアセスメントセンター認定 ・活動：2023年事業のフォローアップ(技能評価トライアル) 職種案：配電盤・制御盤組立て作業2級SET/SAC、電気系保全2級SET/SAC、 機械検査3級SET/SAC カンボジアの国家検定制度構築への協力
今後の取り組みに向けた意見交換	・カンボジアで新たに制定された労働環境と人材育成に関する法律で、2024年から2028年の5年間で75,000人の労働者を対象に技能評価を行うことになった。SESPP事業では4訓練校と連携して、新法案に即した形での研修の実施をお願いしたい。(MoLVT) ・情報ネットワーク施工は、2024年度はカンボジア国内技能競技大会で模擬競技を実施、2025年度にWorldSkills ASEANフィリピン大会へのオブザーバー参加、2026年度にはカンボジア国内技能競技大会での正式競技種目として採用、2027年のWorldSkills ASEANインドネシア大会への参加といった計画を立てている。(MoLVT)

□研修レポート

■ インドネシアにおけるプラスチック成形2級の技能評価者講習(SAT) ・技能評価トライアル(SET)・技能評価者認定(SAC)

2023年11月10日(金)～11月17日(金)にプラスチック成形2級の技能評価者講習、技能評価トライアル及び技能評価者認定が松下グローバル財団・ハイテク金型センター(HTMC)にて開催されました。

インドネシアにおけるプラスチック成形2級はCovid-19の影響で4年ぶりの現地での実施となりました。技能評価者認定は評価者7名全員が合格し、新たに7名の認定評価者が誕生しました。技能評価トライアルは7名が受検し、内5名が合格しました。

研修ではまず、BNSP(国家職業資格認証機構)の評価者への講習を行い、受講者に対してのSATにて「2級試験の概要と評価方法/評価書類の記入の仕方」、「模擬2級試験と評価業務の演習」、「技能評価者職務チェックシートの記入」等の講義が行われました。SETは2日間に渡り2回に分けて行われ、受講者は評価者の立場でSETに臨み、研修の成果を発揮しました。

講師の中澤 誠氏からは、『インドネシアでのプラスチック成形は、研修開始から10年目を迎え、4年ぶりに技能評価者講習の実施となった。射出成形機がHTMC内に常設され新しい環境下でSAT、SETが実施された。評価者は全員が検定合格者で、2回目の受講者が3名おり、ミスもなく評価業務を実施することができた。一方、SET受検者は設置された成形機を使用した実績が少なく、不合格が2名出た。BNSPの評価者の人員不足が課題であるとする。』との講評をいただきました。受講者からは、『より多くの専門家を育成するために、研修の数を増やしてほしい』等の意見が寄せられました。



技能評価者講習風景



技能評価トライアル(実技試験)風景



専門家による評価者面接風景

■ ベトナムにおけるシーケンス制御2級の技能評価者講習(SAT)・技能評価トライアル(SET)

2024年1月10日(水)～1月14日(日)にシーケンス制御2級技能評価者講習、技能評価トライアルがグエンタットタン大学(NTTU)にて開催されました。現地での研修は4年ぶりの実施となり、まずSATで「評価者の役割と責務」、「実技試験実施方法及び運営上の留意点」、「動作チェックシート説明」、「配線作業チェックシートの説明」、「役割演習の進め方説明」の後、評価者と受検者に別れての「役割演習、採点・評価実習」を行いました。続くSETでは受講者は評価者として、検定試験の運営を行い、8名が受検しました。残念ながら合格者は出ませんでした。次回に向けての向上を期待します。

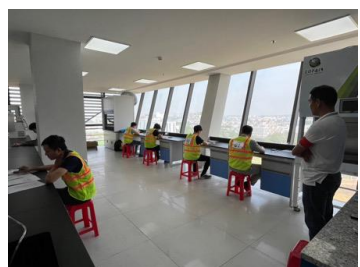
講師の安原 雅彦氏(職業能力開発総合大学校)からは、『今回、ホーチミンで初めてシーケンス制御でのSETを実施した。初めてのSETのため、当初は緊張を感じられたが、全員問題なくスムーズに実施できたと思う。チーフ評価者を中心に担当ごとに議論を重ねて、お互いに確認しあっていたことが、特に印象的で良かった。』、清野 政文氏(同)からは『評価対象者はとても熱心に取り組んでいた。納得ができない内容については熱心に議論をする場面もあり、特に安全に関する非常停止動作に関するプログラムについては、配点評価の議論がおきたが、最終的には納得していた。』との講評をいただきました。



技能評価者講習風景



技能評価トライアル(実技試験)風景



技能評価トライアル(学科試験)風景

■カンボジアにおける競技課題採点・評価セミナー(情報ネットワーク施工)

2024年2月5日(月)～9日(金)に競技課題採点・評価セミナー(情報ネットワーク施工)がカンボジア国立ポリテク大学(NPIC)で開催されました。講師は松本祥孝氏(関西職業能力開発促進センター)及び伊藤進氏(株式会社きんでん)にご担当いただきました。

受講者は7名で、NPIC校、NTTI校、PPI校等の指導員が参加しました。

まず、光の「競技課題の説明」、「評価基準の作成手順について」、「カンボジア独自の評価基準の作成(光課題・メタル課題)」の講義、演習を行いました。続いて「模擬競技の準備」で、実際に競技大会を実施するうえで必要な準備事項を学んだ後、2日間に渡り「光課題」、「メタル課題」それぞれの模擬競技を実施しました。

講師の伊藤進氏からは『昨年度より情報ネットワーク施工職種の競技運営や評価方法を習得し、競技会実施に向け、大きく前進している。受講者の熱心な取り組みによって、施工能力が向上し、施工表の作成、評価についてもできるようになっており、今後に期待ができる。自国で運営するためには、現地の材料や工具を使用しての模擬競技の実施が必要となる。また、受講者は競技するための競技者の育成についても考える必要がある。』、松本祥孝氏からは『本年度は、光課題においてより難易度の高い日本の技能五輪全国大会に類似した課題(19インチラック、光パッチパネル等を使用)に取り組んだ。本研修の模擬競技を通じて、参加したカンボジアの指導員7名の施工能力は1年前と比べ格段に向上した。また、各種施工に対する評価技術は、カンボジア独自の採点基準および採点シートを作成することができ、適切な評価ができるまで向上した。まだ未熟な点もあるが、当該職種にかかる施工技術・評価技術は、ともに想定以上の水準を満たしており、2023年度の投入量に対して十分に満足の結果を得れたと感じている。更なる技術力向上ならびに技術定着・普及の効果が見られると思料する。』との講評が寄せられました。

また、受講者からは『トレーニングを積んで、より多くの技術を習得したい。』、『カンボジアの指導員たちに必要とされる、適した内容になっている。』といった意見が寄せられました。

情報ネットワーク施工職種は、2024年にカンボジアで開催される国内技能競技大会で模擬競技として実施されることが期待されます。次年度の模擬競技実施に向けて、引き続き支援を行っていききたいと思います。



専門家による指導風景



模擬競技風景



専門家による指導風景

『J-Skills News』に関するお問合せ

SESPP事務局 (株式会社JTB 霞が関事業部)

〒100-6051 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング23階
TEL : +81-3-6737-9263 FAX : +81-3-6737-9266

担当 : 近藤・池田・岩下
E-mail : sespp@jtb.com